



ターペン可溶 2 液形ポリウレタン樹脂クリヤー塗料

ファインウレタンU100

FINE URETHANE U100

木部用クリヤー

(社) 日本塗料工業会登録

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆

居室内外での使用面積制限はありません

JASS 18 M-502

2 液形ポリウレタンワニス

・ JASS 18 M-502 に合格するのはつや有りのみです

建築木部内外部用
呼吸形弾性



Basic & New
NIPPON PAINT

5つの特長

- 01 木材保護着色剤やオイルステインの上塗りに使用できます
- 02 塗膜が呼吸(通気性)します
- 03 塗膜の弾性力により木材の伸縮に追従します
- 04 塗膜の耐候性がよく、変色しにくいです
- 05 塗膜の耐久性が高く、つやが長持ちします

■容量・荷姿

製品名	ニッペ ファインウレタンU100木部用クリヤー
系 統	ターペン可溶2液形ポリウレタン樹脂クリヤー塗料
容 量	15kg セット (塗料液 (主剤) : 硬化剤 = 13.5kg:1.5kg) 4kg セット (塗料液 (主剤) : 硬化剤 = 3.6kg:0.4kg)
配合	2液形 (塗料液 (主剤) : 硬化剤 = 9 : 1 (重量比) に混合 ※十分にかくはんしてください)
色 相	透明
つ や	つや有り、半つや消し、全つや消し

表示

危険物表示：第4類
第2石油類
非水溶性
有機溶剤区分：第3種等

■用途

木部保護着色仕上げ用クリヤー

機能：木部用保護着色剤 …… 木部の防腐、防かび、防虫効果
木部用クリヤー …… 変退色防止

※上記のとおり、それぞれ機能が分かれていますので、必ず仕様をまもってください。

■適用下地

●軒天 ●飾柱 ●ドア ●戸袋 ●破風 ●濡れ縁
●窓枠 ●門扉 ●ベランダ

上記部位の木部

■つや調整(混合比)

既存塗料の混合によりつや調整が可能です。

つや調整 \ 組合せ	つや有 / 半つや消し	つや有 / 全つや消し	半つや消し / 全つや消し
7分つや	20 / 80	50 / 50	
半つや消し		40 / 60	
3分つや		10 / 90	40 / 60

※つや調整の混合比は目安です。あらかじめ試し塗りをしてお確かめください。

■塗装仕様

※下記の各数値は、全て標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

新設の場合

工程	塗料・材料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、砂じん、油脂分などをサンドペーパー、ブラシ、ウエスなどで除去し乾燥した清潔な面にする。						
木部保護着色	溶剤系外部用木材保護着色剤を各商品の施工仕様に準じて塗装する（塗り重ね乾燥時間は12時間以上が目安）						
上塗り	ファインウレタンU100 木部用クリアー	2	0.09～0.13kg/m ² /回	2時間以上	塗料用シンナーA	5～10%	はけ・ローラー

古材初塗装の場合

工程	塗料・材料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地処理	アクリル洗い漂白、シミ抜き、かび取り漂白処理をする。処理後に処理剤が残らないよう、水拭き又は洗浄機により水洗いを十分に行い乾燥させる。						
素地調整	ごみ、砂じん、油脂分などをサンドペーパー、ブラシ、ウエスなどで除去し乾燥した清潔な面にする。						
木部保護着色	溶剤系外部用木材保護着色剤を各商品の施工仕様に準じて塗装する（塗り重ね乾燥時間は12時間以上が目安）						
上塗り	ファインウレタンU100 木部用クリアー	2	0.09～0.13kg/m ² /回	2時間以上	塗料用シンナーA	5～10%	はけ・ローラー

塗り替え外部の場合

工程	塗料・材料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
剥離	古塗膜を剥離剤やサンドペーパーにて完全に除去する。処理後は水洗いを行い、シンナーで拭き取り十分乾燥させる。						
下地処理	アクリル洗い漂白、シミ抜き、かび取り漂白処理をする。処理後に処理剤が残らないよう、水拭き又は洗浄機により水洗いを十分に行い乾燥させる。						
素地調整	ごみ、砂じん、油脂分などをサンドペーパー、ブラシ、ウエスなどで除去し乾燥した清潔な面にする。						
木部保護着色	溶剤系外部用木材保護着色剤を各商品の施工仕様に準じて塗装する（塗り重ね乾燥時間は12時間以上が目安）						
上塗り	ファインウレタンU100 木部用クリアー	2	0.09～0.13kg/m ² /回	2時間以上	塗料用シンナーA	5～10%	はけ・ローラー

玄関ドアなどの仕上げ

①新設の場合は素地調整の工程より行ってください。②古材初塗装の場合は下地処理の工程より行ってください。③塗り替え旧膜のある場合は剥離の工程より行ってください。

工程	塗料・材料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
剥離	古塗膜を剥離剤やサンドペーパーにて完全に除去する。処理後は水洗いを行い、シンナーで拭き取り十分乾燥させる。						
下地処理	アクリル洗い漂白、シミ抜き、かび取り漂白処理をする。処理後に処理剤が残らないよう、水拭き又は洗浄機により水洗いを十分に行い乾燥させる。						
素地調整	ごみ、砂じん、油脂分などをサンドペーパー、ブラシ、ウエスなどで除去し乾燥した清潔な面にする。						
着色	外部用	溶剤系外部用木材保護着色剤を各商品の施工仕様に準じて塗装する（塗り重ね乾燥時間は12時間以上が目安）					
	内部用	水性・アルコール系着色剤を各商品の施工仕様に準じて塗装する。					
上塗り	ファインウレタンU100 木部用クリアー	2	0.09～0.13kg/m ² /回	2時間以上	塗料用シンナーA	5～10%	はけ・ローラー

施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. 希釈用シンナーは塗料用シンナーAをご使用ください。冬季など乾燥が遅いときは、塗料用シンナーSAもご使用いただけます。
3. ご自分で着色される時は、耐候性のよい外部用顔料系万能着色剤を3%以内にてご使用ください（あらかじめご確認のうえ塗装してください）。
4. オイルステインは屋内塗装にのみご使用ください。
5. 木材中に含まれる化学成分の影響で硬化が遅くなる場合があります。またやに抜きしていない木材に塗る場合、塗装後やにがにじみ出ることがありますのでその場合はやにが白くなってから除去してください。
6. 本品には木材の防腐効果は含まれておりません。
7. 床、廊下、美術工芸品、床柱、カウンター、陳列棚などには使用しないでください。室内塗装される場合には乾燥が遅くなりますので注意してご使用ください。
8. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
9. 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
10. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
11. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
12. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
13. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
14. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
15. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
16. 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
17. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
18. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
19. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
20. 素地の乾燥は十分に行ってください。
21. 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、油脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
22. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
23. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
24. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
25. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
26. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
27. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
28. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
29. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
30. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
31. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
32. 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
33. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
34. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
35. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
36. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
37. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
38. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101
東北支店 ☎022-232-6711
関東支店 ☎03-5479-3614
北関東信越支店 ☎03-5479-3614
中部支店 ☎052-461-1960

近畿支店 ☎06-6455-9608
中国支店 ☎082-281-2180
四国支店 ☎0877-56-2346
九州支店 ☎092-751-9861

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

詳しい情報はホームページで

日本ペイント

建物

検索

カタログNo.

NP-C108

UD240701T

2024年7月現在